

平成24年度第3回公立大学法人熊本県立大学教育研究会議 議事録

日 時：平成24年6月4日（月）13時00分～15時20分

場 所：熊本県立大学大会議室

出席：学長	古賀 実
副学長	半藤 英明
事務局長	益田 和弘
文学部長	山田 俊
環境共生学部長	堤 裕昭
総合管理学部長	松尾 隆
地域連携センター長	松添 直隆
学術情報メディアセンター長	三浦 章
環境共生学研究科長	北原 昭男
熊本県公立高等学校長会会長	森塚 利徳
熊本日日新聞社新聞博物館長	平野 有益
昭和女子大学大学院特任教授	渡辺 満利子

事務局：田代事務局次長、元島教務入試課長、安達学生支援課長、福永総務課長、阪本企画調整室長、田中学術情報メディアセンター事務長、前田地域連携センター事務長、教務入試課阿蘇品班長、同課西本班長、企画調整室北島主幹

1 開会（進行：田代次長）

2 学長挨拶

3 議事（議長：古賀学長）

（1）審議事項

① 平成23年度業務実績報告書について

事務局企画調整室から、熊本県公立大学法人評価委員会へ提出する平成23年度業務実績報告書について、資料1-1に基づき、審議・検討スケジュールとして、5月の自己点検・評価委員会、6月の教育研究会議、経営会議、理事会での審議を経て、6月末日までに熊本県公立大学法人評価委員会へ提出、その後同委員会で審議され、9月には知事による議会報告になること（審議事項②も同様）、公立大学法人熊本県立大学の評価実施要領（改正案）に基づき、評価にあたっての基本的な考え方、評価の方法、評価の進め方について説明があった。また、資料1-2に基づき、自己評価の概要は、80の取組項目のうち、教育研究に関する項目は64あり、内訳はA（年度計画を十分実施）が58、B（年度計画を概ね実施）が6、C（年度計画を下回っている。）及びD（年度計画を大幅に下回っている、又は実施していない）は0であったとの説明の後、資料

1-3に基づき、全体的な状況と自己評価をBとしたものを中心に説明があった。

審議の結果、一部検討見直しを行ったうえで、経営会議、理事会で審議することが承認された。

② 第1期中期目標に係る業務実績報告書について

事務局企画調整室から、資料2-1に基づき、自己評価の概要は、179の取組項目のうち、教育研究に関する項目は126あり、内訳はA（中期計画を十分達成）が121、B（中期計画は概ね達成）が5、C（中期計画の水準を下回っている）及びD（中期計画の水準を大幅に下回っている、又は実施していない）は0であったとの説明の後、資料2-2に基づき、全体的な状況と自己評価をBとしたものを中心に説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

③ 教員採用に係る枠取りについて

・公衆栄養学

事務局総務課から、資料3-1に基づき、「環境共生学部における公衆栄養学を専門分野とする准教授または講師の枠取り。平成25年4月1日の採用を予定している。」との説明があり、続いて環境共生学部長から、「管理栄養士学校指定規則で専任教員が義務付けられている専門分野であるが、前任者の分野変更により不在となり補充する必要がある。常勤で大学院博士前期課程の教育および研究指導が可能な人材が望ましい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

・計量経済学

事務局総務課から、資料3-2に基づき、「総合管理学部における計量経済学を専門分野とする准教授又は講師の枠取り。平成25年4月1日の採用を予定している。」との説明があり、続いて総合管理学部長から、「定年退職者補充のための枠取りであり、在学生のニーズに基づき、社会調査士資格認定科目の充実に向けて取り組むためにも、従前の専門分野である経済思想を変えて採用することが望ましい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

・マーケティング論

事務局総務課から、資料3-2に基づき、「総合管理学部におけるマーケティング論を専門分野とする教授または准教授の枠取り。平成25年4月1日の採用を予定している。」との説明があり、続いて総合管理学部長から、「転出者補充のための枠取りであり、在学生のニーズが高い社会調査士の資格認定を支援するためにも必要な科目である。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

④ 教員の採用について

事務局総務課から、資料4に基づき、総合管理学部の行政学の教員採用について、これまでの審査の経緯等について説明があった。

続いて、全学資格審査委員会議長である半藤委員より、「行政学の採用予定者は、講師での採用が適当であると全学資格審査委員会において判定した。」との報告があった。審議の結果、案のとおり承認した。

⑤ 平成25年度編入学等試験の実施方針について

事務局教務入試課から、資料5に基づき、「編入学等試験の実施は、基本的に入学予定となる学年の在学学生が入学定員の110%を超えないことを前提とする。入学年次は原則として、大学卒業者、出身学科が同一系統の場合は3年次、出身学科が異なる系統の場合は2年次となる。今回は、環境共生学部環境資源学科及び居住環境学科から編入学等試験の希望があり提案するもの。募集人員は若干名で、試験実施予定日はそれぞれ12月2日、10月6日。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

(2) 報告事項

① 平成24年度新入生アンケート調査結果について

事務局教務入試課から、資料6に基づき、「平成24年4月に実施し、回収率は各学部とも90%超え全体では94%。概要としては、『本学を調べる際に活用したもの』は[大学案内]が50%、[ホームページ]が37%。『本学について最も知りたかったこと』及び『本学を受験した動機』は前年度と同様に[勉強内容]が1位。『学科名を見たときの印象』は、環境共生学部は71%がイメージできると回答しているが、総合管理学部は14%となっている。」との報告があった。

② 平成24年度新2年生アンケート調査結果について

事務局教務入試課から、資料7に基づき、「平成24年4月に実施し、アンケートの回収率は、文学部及び環境共生学部で80%を超えたが、総合管理学部で72%となり、全体では78%。概要としては、『入学前に想像していた学習内容と実際の違い』については、[概ね想像どおり][半分ぐらい合っていた]を合計すると84%。『1年間の大学生活に満足しているか』は[満足]と[やや満足]を合計すると83%。『親戚や後輩等に本学への進学を勧めるか』については、[勧めたい]、[動機が合えば勧めたい]を合計すると89%となっている。」との報告があった。

③ 熊本県立大学卒業生（入社１年後）の就業力に関する企業アンケート調査について
事務局学生支援課から、資料８に基づき、「平成２２年３月に卒業した卒業生が就職した企業・団体の１８１社（２４４名就職）を対象に、平成２４年１月～２月にかけて実施。アンケートの回収率は、５０．８％。概要としては、『新入社員が入社後、職務の遂行で重要視される能力』については、[コミュニケーション能力]が７９．１％、[協調性]が７８．０％。『本学卒業生の入社１年後の状況』で[コミュニケーション能力]については、[高い]、[やや高い]を合計する８２．１％。また、[協調性]については合計すると８７．１％となっている。」との報告があった。

④ 熊本県立大学未来基金の状況について

事務局企画調整室から、資料９に基づき、「平成２１年９月に創設した熊本県立大学未来基金については、平成２３年度をもって第１期キャンペーン期間が終了し、平成２４年度以降は、第２期中期計画に基づき、恒常的寄付金募集事業として継続実施していくことになった。第１期キャンペーン期間の実績として、熊本県立大学奨学金の充実、大学内にＣＰＤセンター開設等を行っている。」との報告があった。

４ その他

次回日程 平成２４年度第４回 ７月２３日（月）午後１時～ 本部棟２階大会議室

５ 閉会